



小山中だより

第4号

令和7年12月24日発行

小山中プライド・当たり前行動 アンケート 集約

学校長 片平 真

長いと思われていた2学期も今日で終了となります。また、令和7年の授業も今日が最後日です。令和7年はどのような1年間だったでしょうか。

生徒の皆さんに7月と11月にそれぞれ答えてもらった「小山中プライド・当たり前行動 アンケート」の集約結果を掲載しました。それぞれの項目について「よくできる」を100点、「できる」を67点、「あまりできない」を33点、「できない」を0点として各学年ごとの平均点を出したものです。

小山中プライド・当たり前行動 アンケート 集約

調査項目	1年生			2年生			3年生		
	7月	11月	増減	7月	11月	増減	7月	11月	増減
小山中の生徒として誇りを持っているか	71	75.4	4.4	69.1	68.5	-0.6	65.2	67.3	2.1
小山中が好きですか	82.2	84.8	2.6	70.3	71.2	0.9	61.3	67	5.7
自分のことが好きですか	56.1	59.2	3.1	60.5	62	1.5	59.4	62.5	3.1
いつでも挨拶ができる	73.1	76.8	3.7	74.5	75.4	0.9	68.1	73.8	5.7
授業の最初と最後の挨拶ができる	85.3	86.4	1.1	80.2	81.5	1.3	69.7	70.9	1.2
返事ができる	76.5	78.2	1.7	72.8	74	1.2	74.2	76.8	2.6
場に応じた言葉遣いができる	72.8	74.5	1.7	69.4	71.1	1.7	74.9	74.6	-0.3
人の話をしっかり聴くことができる	74	77.1	3.1	75.1	76.5	1.4	71.4	76.2	4.8
自分の意見を言うことができる	63.3	65.8	2.5	61.3	62.3	1	68.2	65.6	-2.6
友達と仲良く過ごすことができる	88.9	91.2	2.3	83.8	84.5	0.7	80.3	85.3	5
友達に気遣いができる	78.4	81.5	3.1	76.7	78.2	1.5	74	80.8	6.8
清掃がしっかりできる	80.5	83.6	3.1	72.5	73	0.5	70.5	72.7	2.2
グループ学習ができる	79.5	82.1	2.6	73.5	75.4	1.9	72.4	75.4	3
真剣に授業に取り組むことができる	77.2	79.9	2.7	74.9	76.2	1.3	71.6	72	0.4
期限内に提出物を出すことができる	75.3	77.6	2.3	71.1	72.8	1.7	69.9	73.8	3.9
決まりを守ることができる	79.1	81.8	2.7	73.2	74.5	1.3	74.6	75.6	1
時間前着席ができる	70	72.3	2.3	67.9	68.9	1	72.2	70.3	-1.9
時間を守って行動できる	72.2	74.1	1.9	70.3	71.5	1.2	71	70.5	-0.5
身だしなみを意識して行動できる	83	84.5	1.5	76.2	77.8	1.6	79.8	77	-2.8
家庭学習ができる	52.6	54.8	2.2	55.7	54.2	-1.5	56.4	59.2	2.8
小山ノートを活用し主体的に行動できているか	64.1	67.4	3.3	54.5	53.8	-0.7	52.1	56.8	4.4

1年生は全項目において数値が上昇しています。特に「友達と仲良く過ごす(91.2)」や「学校が好き(84.8)」が非常に高く、中学校生活にスムーズに馴染んでいる様子が見られます。入学からこれまでの学級としてのまとまりが強まっています。また、挨拶などの基本的な生活習慣も向上しており、中学1年生として順調に成長できている様子が見られます。

2年生は多くの項目で微増していますが、「小山中の生徒としての誇り(-0.6)」や「家庭学習(-1.5)」、「小山ノートの活用(-0.7)」でわずかに低下しています。2学期からは「小山中の顔」として学校全体引っ張っていく立場となりましたので、自分自身に求めるものも自ずと高くなってきていると思いますが学校生活に慣れた分、一部で意欲の停滞や「慣れによる緩み」が見え始める時期でもあります。特に主体的な学習姿勢(家庭学習や小山ノート活用)の向上が今後の鍵となるように思います。

3年生は「友達への気遣い(+6.8)」や「学校が好き(+5.7)」が大きく伸びており、卒業を意識する中で仲間意識や学校への愛着が急上昇しています。一方で、「身だしなみ(-2.8)」や「自分の意見を言う(-2.6)」、「時間前着席(-1.9)」が低下しています。受験期に向けてのストレスや、仲の良さが過度になることによる「決まりへの甘え」が出てきているのかもしれませんが、「受験生だから」という甘えはなしにして「小山中最上級生として」創光祭の時のように後輩に憧れられる姿を見せてほしいと思います。

全体としては、ほとんどの項目で数値が上昇しており、学校生活への適応や集団としての成長が読み取れるとてすばらしい結果となっています。特に全学年で「友達と仲良く過ごす」「友達に気遣いができる」が向上していること、「授業の前後」「いつでも」の挨拶がしっかりとできることなどが小山中生の強みであると思います。逆に「自分のことが好きですか」という項目は、上昇傾向にはあるものの、他項目に比べて低いです。これは小山中生だけでなく日本の中学生全体の傾向でもあります。引き続きの自己有用感を高められるよう来年も支援していきたいと思うところです。また、全学年で「家庭学習」が最も低い点数にとどまっています。特に2年生で低下している点は、学力向上に向けた大きな壁と言えるでしょう。これは生徒の皆さんが自分自身の評価としてつけたものですから、「自分自身の家庭学習は足りないな」と自覚していることの表れだと思いますので、ぜひ令和8年は実行に移してほしいところです。

自分自身に「何が足りないのか」を年末にあたりもう一度考え、小山中生1人ひとりが成長できる令和8年にしていきましょう。

